

# 花豆かんさつにつき 2 ページめ

札幌市博物館活動センター 2023 年度 おうちミュージアム

日付:2023 年 5 月 24 日(水曜日)

天気:晴れ 気温 17℃

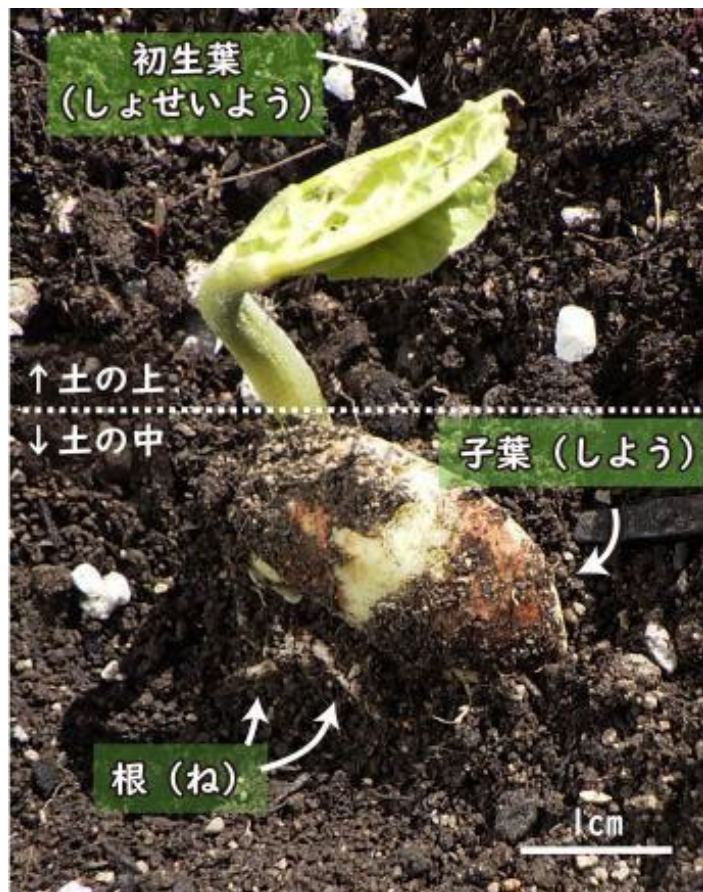
場所:博物館活動センターの花壇



5 月 13 日にタネをまいて 11 日目。  
さて、今日こそ芽(め)は出たかなあ〜〜??  
お……?



芽、芽、芽がああ！  
ついに芽が出ました!!!  
毎日のように水やりをしつつ、もう芽は出たかな?まだかな?と首をなが〜くして、楽しみにしていたんだよ〜!  
タネから芽が出ることを「発芽(はつが)」というよ!  
発芽した様子や、その芽を「芽生え(めばえ)」ともいうよ。



ハナマメの芽生えをよく観察してみたよ!

土の上に出ている葉っぱは「初生葉 (しょせいよう)」というよ!

2枚あって、なんだかシワシワしているね。

この「初生葉」という葉っぱは、ハナマメやダイズなど、主にマメの仲間の植物に出る葉っぱなんだって!

土の中には、「子葉 (しょう)」という、発芽するときに最初に出る葉っぱがあったよ!

(通称「ふたば」とも呼ばれる部分。)

土に埋まっていて見えないけれど、後ろ側にもう一枚、子葉があるよ。

タネみたいな形のままで初生葉とは違うし、あんまり葉っぱって感じもしないね〜。

それもそのはず、土の中の子葉は、次の葉を作るための栄養をためておく役割を果たしているんだ!



次の日 (5月25日) には、他にもいくつか、ハナマメの芽生えが確認できたよ。

初生葉が開いている芽も!

土の中からにょきっと「初生葉」を出す姿が見られるのは期間限定。

ぜひ観察しに来てください!

#### 参考図書

- ・ 浅井元朗 (2012) 「身近な雑草の芽生えハンドブック I 改訂版」 (株式会社文一総合出版)
- ・ 浅井元朗 (2016) 「身近な雑草の芽生えハンドブック 2」 (株式会社文一総合出版)
- ・ 清水建美著・梅林正芳画・亘理俊次写真 (2001) 「植物用語事典」 (八坂書房)
- ・ 佐多正行・大島敏秋・小川太一・田中利孝・梶谷正義編修 (1992) 「図説農業基礎用語集」 (実教出版株式会社)
- ・ 国分牧衛編・上野直大絵 (1998) 「そだててあそぼう (9) ダイズの絵本」 (社団法人農山漁村文化協会)

## 藍(アイ)や他の植物たち



アイも発芽したよ!

アイはハナマメよりも1日早い、5月23日に発芽を確認しました。

アイの子葉は、だ円形で2枚あるね!



タネの皮がぼうしになってる!



アイのすぐそばには、他の植物たちの姿も。

これはエノキグサかな!

※5月20日(土曜日)に観察に来てくれたお友達に、これをアイの芽だとお伝えしてしまいました……。間違ったことを教えてしまっでごめんなさい!



←子葉(しょう)

こっちはカタバミ。

一番下の丸っこい2枚の葉が子葉だよ。

その次からは、3つのハートがくっついたような形の葉っぱが出ているね!